



本郷小

会津美里町立本郷小学校
令和5年度学校だよりNo.19
令和5年9月7日
発行者 校長 星 潔

第2学期の学びの様子から！

早いものでもう9月に入りました。暑さが続いていることもあり、屋外や体育館での運動には制限がかかる場合がありますが、各学年ともに、子ども達は、一生懸命に学習に取り組んでいます。「本気で 郷GO!」な姿が各学年で見られていることに大変うれしく思います。

学力も心も身体も大きく成長する2学期。子どもたちが「ドリーム」に向かって「スマイル」で「チャレンジ」していけるように励ましていきたいと思えます。保護者の皆様も子どもたちの背中をぜひ押してあげてください。

それではその頑張っている子どもたちの2学期の学習の様子的一端を掲載いたします。



10月実施予定の鼓笛パレードに向けて1年生がポンポンの動きを確認しています。頑張っています。



2年生。自分がまとめたことをしっかりと発表しています。そしてそのことについて、きちんと質問もしています。すばらしいです。



3年生。集中して問題に取り組んでいます。どんどん自分の力を伸ばしていっています。



きらら学級。仲間と共に、いつも笑顔で学び合いをしています。



4年生。難しいそろばんの学習にも先生や友達と学び合い、教え合いながら取り組んでいます。





5, 6年生です。教員の専門性を活かし、様々な先生と関わる中で、子どもたちの学びを高めています。左は担任以外の授業の5年生理科と6年生の外国語です。上は、5, 6年生合同での体育の授業。右は6年1組担任が2組の図画工作を、2組担任が1組の社会の授業を行っているところです。



本郷学園開校に向けて

次年度の学校教育目標について、昨年度のアンケート結果や学校運営協議会などの諸会議等を経て大筋でまとまってきました。教育目標は「笑顔にあふれ、心身ともにたくましく、自己の実現を図る児童生徒の育成」、目指す児童生徒像は「優しい心もち、助け合う子ども」と「自ら学び、挑戦する、たくましい子ども」の2つです。これに基づき、本郷学園の教育計画を、小中学校教職員が一致団結して作成に入ってきています。小中教職員が「チーム本学」として、本郷地域の未来を担う子ども達にとってより良い教育計画となるように知恵を絞っています。今後も「本郷学園開校に向けて」のコーナーに決定したことなどを記述し、保護者の皆様にしつかりと情報発信していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

校長のひとりごと

バスケットボールのワールドカップが行われています。先週までは沖縄県で日本代表の試合が行われていました。あふれる闘志で試合に臨んだ日本代表の試合を私も熱く応援しながらテレビ観戦していました。その中でも特に私が感動した試合は、予選リーグ第2戦のフィンランド戦と順位決定リーグ戦のベネズエラ戦です。どちらも世界ランキングが上位の格上の相手です。フィンランド戦では、第3クォーター途中で最大18点差、ベネズエラ戦では第4クォーター途中で最大15点差まで広がった両試合。どちらもさすがにこの点差は厳しいかなと思ったのですが、日本代表は決してあきらめていませんでした。ホーキンソン選手や河村選手、比江島選手の大活躍はもちろん、ベンチやアリーナも1つになった「チームジャパン」の底力、見事な大逆転勝利でした。やっぱり「あきらめたらそこで試合終了」ですね。最終戦のカーボベルデ戦での耐えに耐えてのオリンピック出場決定試合も含め、最後の最後まであきらめない強い心とチャレンジ魂の大切さを子ども達にも育てていきたいものですね。